

エコツアー体験ワークショップ

川根高校で行われている魅力化事業のひとつ「川根の郷『夢』プロジェクト（夢ふる）」。

今回は「南アルプスエコパークに登録されている本町が持つ豊かな自然資源を発見し理解を深めることで、その魅力を伝える力を持つようにする」ことを目的として、実際のエコツーリズムを体験し本町の持つ観光資源の重要性について学びました。

千頭駅から南アルプスあぶとラインに乗り、2年生39人は、5月にCOOL JAPAN AWARDを受賞した秘境駅の奥大井湖上駅

で降車、エコティかわねのガイドを受けながら接叡峡温泉の八橋小道、資料館やまびこまでのルートを散策しました。

資料館では、ワークショップとして、グループごとにツアーでの体験や感じたことなどについて話し合いました。また、ガイドが魅力あるツアーをつくるためにやっていることや心がけていること、そのために必要な工夫や準備などについての講義が行われました。

講義の最後には、高校生たちが事前課題として考えてきた観光プランについて説明した

ほか、個人でもできる地元の観光PRについて発表しました。講師からは、ターゲットとのマッチングやプログラムについてのアドバイスを受けました。

藤枝から留学中の前原璃玖斗さんは「初めて井川線に乗ったが、普段見ている景色とは全く違うのが新鮮だった。すごいところだと思っ」とツアーの感想を語りました。

今後は今回の体験をもとに希望者を募り、今年の3月末に徳山で行われた高校生ガイドツアーに続く第2弾を計画していく予定です。



①奥大井湖上駅から散策スタート ②階段式吊り橋としては日本一長さを誇るの宮沢橋（みやんざわばし） ③散策で感じたことをお互いに確認し合うワークショップ ④ワークショップにむけてグループごと記入したチェックシート ⑤地域をPRする方法として各自が思い付いたことを発表 ⑥ツアーガイドをする上で必要なポイントを説明 ⑦1分の持ち時間で自分たちの考えたツアープランを説明 ⑧奥大井の魅力を楽しみながら知識を深めたツアー体験となりました

